

# しろいし



2016  
**冬**  
第180号

# 市議会だより

- 2~4P 12月定例会の概要
- 4~5P 予算審査特別委員会
- 5P 意見書
- 6~11P 市政に対する一般質問(10名)
- 12P 意見交換会のお知らせ・編集後記



こけしの「初びき」の様子



市長の提案理由説明

# 12月定例会 一般会計補正予算など11議案を可決

平成27年12月定例会は、12月4日から12月17日までの14日間の日程で開催されました。市長提出議案は、条例等5件、平成27年度各会計補正予算5件の計10件でした。定例会初日、すべての議案の提案理由の説明を行いました。2日目、条例等5議案の質疑が行われ、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。その後、予算5議案の質疑を行い、予算審査特別委員会に審査が付託されました。同委員会は、予算5議案の審査を12月9日に行いました。一般質問は、12月15日と16日の2日間で、10名の議員が質問を行いました。定例会最終日の本会議において、予算審査特別委員会委員長報告を行った後、表決の結果、予算5議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。また最終日に、市長提出議案1件が追加提案され、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。同日、議員提出議案2件が上程され、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審議した議案の主なものは次のとおりです。

## 条例等

◎仙南地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更、規約の変更及び財産処分について

仙南地域広域行政事務組合規約の一部変更等について、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものです。事務の変更等については、

白石斎苑の建てかえ事業に七ヶ宿町を加えるため、組合の共同処理する事務を変更し、あわせて組合経費の負担方法等も変更となります。

財産処分については、ふるさと市町村圏基金中期計画を策定し、基金を活用して事業を実施してきましたが、平成28年3月末でこの計画が終了となります。そこで、平成27年度中に基金の取り崩しを可能とすることで、構成市町における基金の有効活用を図るものです。

議案番号	件名	審議結果
第87号	市 長 提 案 仙南地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更、規約の変更及び財産処分について	原案可決
第88号	白石市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例	原案可決
第89号	白石市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第90号	白石市市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
第91号	白石市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
第92号	平成27年度白石市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
第93号	平成27年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第94号	平成27年度白石市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
第95号	平成27年度白石市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
第96号	平成27年度白石市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
第97号	白石市と宮城県間の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関の事務の委託について	原案可決
議 員 提 案		
第8号	白石市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
第9号	東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書	原案可決

※意見（賛否）が分かれた議案はありませんでした。

## 12月定例会で審議した議案

◎白石市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号法」という。)の施行により、平成28年1月から個人番号の利用が開始されます。

個人番号は、多くの個人識別機能を持っているため、その利用する事務の範囲を限定し、特定個人情報の提供を制限しています。

「地方公共団体が独自事務に利用する場合」、「同一機関内で特定個人情報の授受を行う場合」、「教育委員会など同一地方公共団体のほかの機関との間で特定個人情報の授受を行う場合」については、番号法の規定により条例で定める必要があることから、新たに条例を制定するものです。

◎白石市と宮城県の間に行政不服審査法第81条第1項に規定する機関の事務の委託について  
(定例会最終日提案)

平成28年4月1日施行の行政不服審査法の改正に伴い、行政処分に係る不服審査請求に対する処分庁が行う判決の公平性を確保するため、判決を諮問する第三者機関の設置が義務づけられました。

そのため、宮城県にその機関の事務を委託することについて、地方自治法の規定に基づき規約を定め、議会の議決を求めるものです。

## 予算

◎平成27年度白石市一般会計補正予算(第5号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ10億3千353万5千円を追加し、予算総額を199億7千161万3千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

- 定住促進事業 1千175万円
- みちのく真田ゆかりの地事業 207万円

- 農業施設災害復旧事業 1億2千619万8千円

- 公共土木施設災害復旧事業 7千170万3千円

◎平成27年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ5千515万4千円を追加し、予算総額を47億7千424万9千円とするものです。  
被保険者の入院等の増加に伴い、高額療養費の給付が増加しているため増額するものです。

◎平成27年度白石市水道事業会計補正予算(第4号)

上水道資本的支出で委託料

を343万5千円、簡易水道資本的支出で国庫補助金返還金を146万3千円それぞれ増額するものです。

◎平成27年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)

下水道資本的支出で委託料を560万円増額するものです。

上水道事業及び下水道事業の委託料の増額は、越河地区の国道4号付加車線整備事業に伴い、水道配水管や汚水管路等の移設を行うための実施設計業務を行うものです。

## 議員提案

◎白石市議会委員会条例の一部を改正する条例  
(定例会最終日提案)

この改正は、平成28年4月1日から実施される市の組織再編に伴い、各常任委員会が所管する事務をそれぞれ改正するものです。

## 市の行政報告から

◎平成28年産の『白石産米』に、塩化カリ肥料の散布を実施しないことになりました。

水稻の放射性物質吸収抑制対策については、土壌中におけるカリ成分が放射性物質の吸収を抑制する効果があるため、平成24年以降、塩化カリ肥料を各農家に配布・散布いただくことで、安心・安全な農産物の生産に取り組んできました。

塩化カリの散布から3年が経過した平成27年度において、吸収抑制対策等の必要性を確認するため、『越河・斎川・大平』の市内3地区に塩化カリ肥料を散布しない「試験ほ場」を設置しました。

その結果、すべての地点で米の放射性物質が『不検出』となり、塩化カリ肥料の散布を行わなくても、『安心・安全な白石産米の生産ができる』ことが実証されました。

このことから、平成28年度産米は、塩化カリ肥料散布による放射性物質吸収抑制対策を実施しないこととしました。

◎東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴う損害賠償請求について、原子力損害賠償紛争解決センターに『あっせん申立て』を行いました。

平成27年9月定例会で議決した平成23年度から平成25年度分の損害賠償請求について、平成27年10月20日付けで原子力損害賠償紛争解決センターに和解仲介手続申立書を提出しました。

申立額は、平成24年度分の「塩化カリ肥料購入費」など3件の賠償額に合意したため、  
【当初の申立予定額】  
2億1千62万7千391円  
から、【実際の申立額】  
1億6千737万2千210円

に変更して提出しました。また申立後に、平成23年度分の「塩化カリ肥料購入費」や平成25年度分の「イノシシ処分費用」も合意したため、12月補正予算の歳入として計

上しています。

平成26年度以降に市が負担した経費及び被災した損害については、遅延損害金も含め、東京電力(株)に対して損害賠償請求を行っています。

◎白石・白川・大平地区の『焼却灰』について、平成27年11月から一般廃棄物として収集を開始しました。

焼却灰の放射能濃度測定については、以前から環境省と協議を行いながら進めてきましたが、今回、調査方法と指定廃棄物の指定方法を、従来の各世帯から地区単位に変更するよう指摘がありました。

この指摘を受け、『白石・白川・大平』地区の焼却灰の再調査を実施したところ、3地区とも放射能濃度は8千ベクレル以下となり、平成27年11月から一般廃棄物として収集を開始しました。

すでに収集・保管を開始している地区においても、年明けには再調査を実施することとしており、その結果に基づき対応していきます。

## 予算審査特別委員会

第92号議案・平成27年度白石市一般会計補正予算(第5号)

から第96号議案・平成27年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)の計5議案について、定例会2日目(12月8日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・四竈英夫、副委員長・松野久郎)は、12月9日に審査を行い、すべての議案について、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成27年度白石市一般会計補正予算(第5号)

### 総務費

入分(定住者補助金)が20件の合計60件である。

転入の状況については、県外からの転入は、東京都・茨城県・山形県が各1件、福島県が2件の合計5件である。県内からの転入は、名取市・岩沼市・丸森町・柴田町・蔵王町が各2件、仙台市・大崎市・栗原市・七ヶ宿町・大河原町が各1件の合計15件である。

転入促進事業者奨励金については、紹介された事業者に対する奨励金で合計20件、その内訳は、市内・市外業者がそれぞれ10件である。

【質疑】防犯灯について、今回、市内4カ所に10灯を新たに設置することだが、自治会等からの要望に十分応えられている状況なのか伺う。

【答弁】各自治会長からの要望書に基づいて補正予算を計上しており、現時点で、すべての要望に込んでいる。

### 土木費

【質疑】大鷹沢三沢地内新幹線高架の東側に設置している谷津川仮橋の撤去について、その詳細を伺う。

【答弁】谷津川仮橋の撤去については、すべて市で行うもので、撤去のための測量設計委託料の補正予算を計上している。

この橋は、昭和52年5月に新幹線建設工事によって設置された鉄製の橋梁である。

市では、昭和57年1月に交通の利便性を図るため、当時の仙台新幹線工務局長に橋梁の無償譲渡を要望した。その結果、橋梁の使用後の

撤去については、市で行うことを条件に、昭和57年3月に無償譲渡され、現在まで供用されてきた。

設置後38年が経過し、老朽化が進んでいることから、平成25年5月に通行止めにしており、地元自治会からも住民の安全・防犯上のため撤去してほしいという要望がある。そこで今回、河川の管理者である宮城県やJR東日本、白石市を含め、撤去について協議している状況である。

## 教育費

〔質疑〕第一幼稚園の遊具撤去工事について、撤去後に新たな遊具の設置を行うのか伺う。

〔答弁〕遊具撤去については、遊具の点検で経年劣化等により危険と判断されたチエーンネットジャングルという遊具を撤去する予定である。

その後の新設については、園と相談のうえ、新年度予算に計上したいと考えている。

## 災害復旧費

〔質疑〕鎌先1号線と小久保平原線の災害復旧について、今回の復旧は、原形復旧で終わるのか。それとも、原形復旧に加え何か強度的な工事等も考えているのか伺う。

〔答弁〕鎌先1号線については、災害復旧の基本的なことは原形復旧であるが、今回、原形復旧するブロックに大型ブロックを採用しており、以前よりも頑丈なものを予定している。また、水流が直接ブロックに当たっているため、河川を少し内側に迂回させたかと考えている。

小久保平原線については、市道脇のフェンスが土砂で崩落した。市道の上方に宮城県が実施している災害復旧工事があり、その終了後に市の復旧工事が入る予定である。この災害復旧工事については、原形復旧が基本的な設計となっている。



復旧となる災害現場（左：小久保平原線、右：鎌先1号線）

## 特別会計

◎平成27年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

〔質疑〕高額療養費について、今回の補正額は5千580万円となっているが、この高額療養費が増えている要因は何か伺う。

〔答弁〕平成27年度10月末までの月平均の一般被保険者高額療養費は、約2千800万円であり、昨年度よりも月平均で500万円増加している。

増加の主な要因は、入院時の医療費の増加である。平成27年3月から6月（4カ月間）の診療分の医療費は約4億4千万円で、昨年度と比べ約1億円増加している。

入院の年齢構成等では、65歳から74歳までの方の入院が増加している。月100万円以上の高額療養費は、昨年度の62件から今年度は100件と約1.6倍である。その治療内容では、がん治療が16人から35人と倍増している。

## 意見書

12月定例会最終日（12月17日）の本会議に議員提案として次の議案が上程され、表決の結果、全会一致で可決され、意見書については関係機関に送付されました。

◎東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担にやらず平成28年度継続するための財政措置を求める意見書

震災から5年が経とうとしているが、いまだ被災地では雇用確保や生活再建が進んでいない状況にある。被災者の中には、体調不良や持病悪化などが慢性化しており、医療費等一部負担金の免除措置や介護保険利用者負担の減免措置の継続を強く望んでいる。国や県に対し、生活再建に至らない被災者に対する免除措置等の財政支援の継続を強く要望し、地方自治法の規定により意見書を提出する。

# 市政に 対する 一般質問

## 〓〓10名の議員が質問〓〓

12月定例会の一般質問は、12月15日・16日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

佐藤 秀行	白石の教育について	他
伊藤 勝美	予算編成について	他
山田 裕一	子ども屋内あそび場整備事業について	他
四竈 英夫	パークゴルフ場の建設について	他
佐藤 聡一	白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	他
菅野 恭子	白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	他
澁谷 政義	人口減少抑制について	他
松野 久郎	個人番号(マイナンバー制度)について	他
大野 栄光	幼稚園・保育園事情について	他
佐藤 龍彦	雇用促進住宅について	他

### 白石の教育について

佐藤 秀行



〔質問〕子どもたちの学力状況を把握し、教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる目的で行われている「全国学力学習状況調査」の結果を踏まえ、市の学力面における課題や生活習慣等も含めた良い点について伺う。

〔答弁〕【教育長】指導の違いや子どもたちの捉え方に違いはあるが、ノートの取り方に課題があると考える。今後、保護者と共通認識を持ちながら、学校や家庭での学習等に取組んでいきたい。良い点は、予習・復習する時間が全国よりも多い。また、礼儀正しく、素直で真面目に取り組んでいる点が評価できる。

〔質問〕市内の小中学

校の先生方が、全国的に学力が高い福井県の教育視察に行かれたが、その目的と課題、そして高い学力の要因について伺う。

〔答弁〕【教育長】教育の先進地域であり、教育の素地が東北とは違う地域に派遣したいという意図があった。地域と保護者が、学力や学習方法について共通認識を持ち、非常に信頼関係が厚い。また、すべての教師が研修に励んでいるなど、今後これらを白石の教育にどう取り入れていくかが課題である。

〔質問〕文部科学省初

の「教師の多忙」調査で、「国や教育委員会からの調査やアンケートへの対応」に負担を感じている先生方が大変多い結果が出ているが、この調査結果の所見と課題について伺う。

〔答弁〕【教育長】確かに、負担は大きいと感じている。特に、電子メールでの返信がその一つの原因でもある。先生たちが子どもと向き合う時間の確保が課題と考える。

〔質問〕白石第一・第二小学校では、P4C(子ども同士の対話の中で思考を深めていく教育)に取り組んでいるが、今後どのように進めていくのか伺う。

〔答弁〕【教育長】自分の考えを話す、相手の話を聞く、問いについてじっくり考えるという姿勢が見えてきており、学習規律に活用できないか、また、すべての学校で取り入れていきたいと考える。

予算編成について

伊藤 勝美



〔質問〕個人市民税、法人市民税など、平成28年度の税収はどのように見込んでいるのか。

〔答弁〕【市長】予算編成の市税については、財源の根幹をなすものであり、国の税制改正や経済動向を十分把握しながら収入見積もりを行なっている。平成27年度当初予算並みの税収を見込んでいるが、経済状況等により、平成28年度の当初予算案を提案する際に変更となる可能性もある。

〔質問〕平成28年度の予算編成に当たり、市長が目指す方針はどのようなものか。  
〔答弁〕【市長】白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけ

た施策が主体となり、また、第5次総合計画に基づき進めている既存事業を一体として取り組みながら、人口減少対策という喫緊の課題に的確に対応していきたいと考えている。

〔質問〕各地区・自治会からの要望等に関して、どのような基準、考えで予算付けをしているのか。

〔答弁〕【市長】要望等については、その内容の見直しをしっかりと行い、付けられるところは付けていくよう、適宜対応していく。

◎「新電力」でのコスト削減の取り組みについて

〔質問〕最近、先進自治体では、公共施設などを「新電力」からの電力調達により電気料金の削減に一定の効果を上げている。

平成26年2月に行った私の一般質問「新電力について」に対する市長の答弁は、「ほかの自治体等の事例や動向を注視しながら、慎重に検討していきたいと考えている」と答弁しているが、その後の検討状況はどうなっているのか。

〔答弁〕【市長】新電力を含め、自治体の立場としての電力供給のあり方について、いろいろ検討してきた。

本市の地域防災計画の中において、東北電力は指定公共機関として重要な位置づけにあり、最悪の非常時を想定して電力の安定供給を図る必要がある。

そのため、現在の東北電力からの電力供給は継続していきたいと考えている。

【その他の質問】

◎道路交通法にともなう自転車運転について

◎小・中学校の将来構想について

子ども屋内あそび場整備事業について

山田 裕一



〔質問〕平成25年2月定例会において、私は子育て支援施策として、子ども屋内運動場整備の必要性について一般質問を行った。

市長は、「白石市が持っている既存施設を活用して整備できないか、前向きに検討していきたい」と答弁された。

しかし、その後の動きがまったく感じられないでいたが、白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略には、地方創生新規事業として、「屋内あそび場整備事業」が掲げられている。

そこで、今後の整備計画等について、市長の所見を伺う。

〔答弁〕【市長】既存施設の活用を検討した結果、難しいとの結論となった。そこで現在、

新たな施設整備として、平成28年度中の事業着手を目標に検討しており、担当課において平成27年10月下旬に近隣市町の屋内あそび場の視察を行った。

今後、施設整備に活用できる交付金等、財源確保に向けて最大限の努力をしながら、子育て世代の方々の意見を聞き、利用者のニーズにあつた施設整備をしていきたい。

〔質問〕前回の一般質問で山形県東根市の「けやきホール」を例に挙げたが、あのような大規模施設は、ほかに見たことがない。

現在、大型のショッピングモール等でも、子どもを遊ばせる空間は整備されているが、市長がイメージしている施設の規模等について伺う。

〔答弁〕【市長】東根市のような施設があれば良いと思うが、そこまでの施設が白石に必要なかどうか。そのため、近隣市町を参考にしながら、利用する方がどのようなものを望むのかを重視していきたいと考えている。

〔質問〕近隣にない素晴らしい施設であれば、市外や県外から人を呼び込むことができ、将来的に白石での子育てにつながるかと考える。ぜひ、攻めの姿勢で考えていただきたいと思うがいかがか。

〔答弁〕【市長】白石の施設に外から人を呼びたいと考えているので、使いやすく、魅力のある施設をつくっていかなければならないと考えている。

【その他の質問】

◎災害対応型飲料自動販売機を活用した防犯カメラ設置について

◎スポーツ少年団の支援について

### パークゴルフ場の建設について

四 竈 英 夫



〔質問〕ゲートボールやグラウンドゴルフは依然根強い人気があるが、近年、パークゴルフ愛好者が増えている。高齢化社会を迎え、健康寿命の重要性が叫ばれている現在、心身ともに健康で長生きしていただくためにも、パークゴルフは大変効果のあるものと考えます。面積はあまり取らず建設費も比較的安く抑えられることなどを踏まえて、パークゴルフ場の建設を検討してはどうか。

〔答弁〕【市長】本市では、市民の健康増進と体力向上を目的に、「誰でも・いつでも・どこでも」気軽に楽しむことができる生涯学習スポーツの普及・推進の観点から、グラウンドゴルフやシャフルボードなどの講座を小学校や公民館で開催している。また、市民グラウンドゴルフ大会も毎年盛大に開かれている。こうした現状から、現在ある施設を利活用しながら、高齢者の健康寿命への効果が望め、子どもから高齢者まで一緒に楽しむことができるグラウンドゴルフの推進に取り組んでいきたいと考えている。そのため、パークゴルフ場の建設は、現在のところ考えていない。

### ◎博物館建設の現状について

〔質問〕最近、歴女ブームなどで歴史に対する関心が高まっている。平成28年のNHK大河ドラマでは「真田丸」

が放映され、本市の登場も期待される。貴重な歴史の記録を保存し、後世に伝えることは我々の使命でもあると考える。そのための博物館建設について、規模と予定地、建設時期等を伺う。

〔答弁〕【市長】平成17年に白石市博物館建設構想委員会から答申を受け、平成18年に博物館準備室と博物館建設委員会を設置した。答申では、建設予定地は白石城周辺が良いと言われている。

しかしその後、白石高校と白石女子高校の統合や震災などがあり、正確な場所はまだ決定していない。旧白石高校跡地も視野に入れて検討していかねばならないと考える。

建設時期については、旧白石高校跡地の利用を宮城県に対して要望していくことになるため、時期については、答弁できない。

### 白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

佐 藤 聡 一



〔質問〕白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の具体的な施策に、

着地型観光による交流人口の増があるが、本市の着地型観光商品をどのように作っていくのか、その手法を伺う。

〔答弁〕【市長】平成27年度から外国人向けの甲冑着用体験事業、白石城のAR再現事業、多言語の案内ホームページの開設等を行った。

今後も、本市の歴史・文化・伝統を活かした観光プログラムを充実させながら、豊かな環境資源を活かした自然体験・農林業体験等を市民や事業者とともに企画していきたい。外国人向けとしては、観光地案内だけでなく

飲食店やトイレ等の案内も多言語化が必要と考えている。

行政としてはいろんな情報発信をしていくが、民間や商工会議所等との連携も模索していきたい。

〔質問〕総合戦略の目標は、人口減少と経済縮小の克服である。

そのため、重要業績評価指数（KPI）の指標に、経済効果に関する数字を出し、指標としていく必要があるのではないか。

〔答弁〕【市長】総合戦略で設定しているKPIは施設入館者数やイベントの参加者数等、行政の立場からの成果指標が多くなっている。

今後、指標の達成度を踏まえ、成果を客観的に検証し、必要に応じて施策や評価指数を随時見直ししていく。数値の適切な把握が

課題となり難しいかもしれないが、販売額、出荷額等の経済効果に関する数値を評価指標として活用できるか検討をしていきたい。

議員からの質問で気づきをいただいた。当然、人口増加に対する指標の設定についても検討していかねばならないと考える。

### ◎交流試合における白石市代表選手のユニフォームについて

〔質問〕スポーツ交流大会や交流試合の代表選手となった子どもたちに、Tシャツなどのユニフォームを作成してはどうかを伺う。

〔答弁〕【市長】競技団体によっては、参加者が一部負担し作成していると聞いている。

競技参加者全員に無料でTシャツなどを作成することは難しいと考えられるが、今後、財団や交流協会、それぞれの競技団体と相談しながら検討していきたい。



### 白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

菅野 恭子



〔質問〕基本目標1の「産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちづくり」について、地方創生先行事業として、すでにスタートしている伝統工芸品『白石和紙』の後継者育成の進捗状況を伺う。

〔答弁〕【市長】指導予定の方が高齢のため、現場での対応が困難な状況にある。

しかし現在、本市には「白石和紙を残したい」という強い思いを持ち取り組んでいる市民グループがある。この方々と技術の継承という観点から連携を図っていききたい。

〔質問〕『白石和紙』を維持継承していくには、産業化し発展させていく必要があると考える。

経済産業省の調査では、和紙製品の海外輸出が増加傾向にある。

全国的にも知名度の高い『白石和紙』の産業化を目指し、後継者育成と並行してその方途を検討していくべきではないか。

〔答弁〕【市長】白石和紙の場合、現時点では、復活できるような技術を継承していくことが大切であると考える。

〔質問〕基本目標3の「安心して子どもを産み育て、心やすらかにくらせるまちづくり」について、「産科医療機関の支援」の中で、産婦人科医師の招へいに努めるとある。

全国的に産婦人科医師が不足する中、どのように取り組むのか伺う。

〔答弁〕【市長】今後、市内に開業する産婦人

科医療機関への優遇や刈田総合病院に勤務する産婦人科医師に対し、何ができるか検討している状況である。

〔質問〕子どもの健康は、本人・家族の幸福であり、そして本市の発展に直結するものである。

基本目標3は、地方創生の要でもあると考える。より市民の心に沿った方向へ推進できるように、季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成対象を、生後6カ月から中学3年までに拡大すべきと強く主張するものである。

そのため、基本目標3にこの内容を加え、実施に向けた検討をすべきと提案するが見解を伺う。

〔答弁〕【市長】育てやすい環境づくりという観点から、インフルエンザの予防だけでなく、今後いろいろな面を踏まえ、総合戦略の中で考えていきたい。

### 人口減少抑制について

澁谷 政義



白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略「人口ビジョン」の将来展望の中で、将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析から質問をする。

〔質問〕人口減少を抑制し向上させるため、出生率の上昇が不可欠で、結婚支援策が必要である。行政がリーダーシップを取り、仲人などのプロジェクトチームを立ち上げ、出会いの場を広く推進してはどうか。

〔答弁〕【市長】総合戦略では、民間団体と連携しながら、仲間づくりを通じた交際・結婚を応援していくこととしている。そのため現在は、仲人などのプロジェクトチームを立ち上げる考えはない。

〔質問〕適齢年齢の方の約70%強が、恋愛関係にないデータも出されている。住民等の中にも高いアンテナをお持ちの方がいる。広く人力を活用すべきと考えるがいかがか。

〔答弁〕【市長】地域にそういう人は必要だと考えるが、それを笑顔で受け入れる環境づくりも大切である。

〔質問〕結婚後の福祉策について、経済的負担軽減策として、白石市新家庭家賃補助金制度があるが、思い切った住宅費の無料化を図ってはいかがか。

〔答弁〕【市長】一定程度の受益者負担は必要と考え、住宅費の無料化までは考えていない。

〔質問〕財政を圧迫させるが、長い目で見れば各税収増が期待できると思うがいかがか。

〔答弁〕【市長】定住から経済が回るのも事実であるため、しっかりと見据えていきたい。

〔質問〕人口の社会増をもたらず施策、定住の促進と移住の推進について、まちづくり総合戦略案をもとに新たなプランを描いてみてはどうかか。

〔答弁〕【市長】民間事業者と連携し、定住促進事業の推進を図り、さらに空き家等の利活用等を検討している。

◎危機管理について

〔質問〕庁舎内で、あらゆる不測の事態を予測した危機管理体制が図られているのか伺う。

〔答弁〕【市長】庁舎管理規則に基づき、管理責任者や室管理者を指定している。また、危機に直面した所属から直接警察や関係機関に支援要請できるように現在検討している。

### 個人番号（マイナンバー制度） について

松野 久郎



〔質問〕市民への配達状況等について伺う。

〔答弁〕【市民課長】平成27年12月7日現在の配達総数は、1万4千66通である。

そのうち市役所に戻ってきたものは、宛てどころなしが284通、受取拒否が124通、郵便局保管で戻ってきたものが858通、総数で1千266通である。

〔質問〕具体的なセキュリティ対策について伺う。  
〔答弁〕【市長】担当する職員は、静脈等による生体認証、ICカードやパスワードでの認証などにより、個人情報システムへのアクセスを制限している。各種書類については、各所属で管理責任者を

定め、管理を徹底している。

◎白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

〔質問〕地方創生先行型の「通常事業分野」での交付対象事業はあったのか伺う。

〔答弁〕【地方創生対策室長】国の予算年度で繰越ができない事情もあり、申請は見送った。

〔質問〕具体的な事業に取り組む自治体多くの交付金がついた。本市でも強調した取り組みはあったのか伺う。

〔答弁〕【地方創生対策室長】すでに多くの継続事業を行っているため、特に強調して申請はしていない。今後、継続事業・先行事業・新規事業にあらゆる補助金・交付金を活用し、事業を進めていきたい。

〔質問〕映画等のロケ地を誘致するフィルム

コミッション事業について、現状と今後の取り組みについて伺う。

〔答弁〕【市長】現在まで映画やテレビドラマで9件の実績があり、着実に成果を上げている。今後、スタッフの人数や待遇等について、しっかりと精査しながら検討していく。

◎白石市創生総合戦略の人口ビジョンについて

〔質問〕現在の待機児童数について伺う。

〔答弁〕【子ども家庭課長】平成27年12月1日現在、ゼロ歳児10人、4歳児1人の計11人である。

〔質問〕待機児童をゼロにし、「子育ての町白石」をアピールするには、どのような施策が必要か伺う。

〔答弁〕【市長】育児休業制度の奨励やゼロ歳児受入枠の拡充、認可外保育園への後方支援など、市の支援事業計画に基づく事業の実施であると考える。

〔質問〕保育料の徴収は、市の幼稚園規則に基づき、中途入園や退園の場合でも月額6千円と

### 幼稚園・保育園事情について

大野 栄光



安倍総理は、新アベノミクスとして新3本の矢を発表し、1億総活躍社会を提唱した。その中で、生活の豊かさの実感や充実した子育て支援を行う方針が示された。しかし、正規の仕事で子育て中の方は、ゆとりや豊かさを実感するには至らないと言っている。

そこで、次の支援を求め、次の支援を伺う。

〔質問〕働く保護者のため、朝の幼稚園児の引き受け時間を30分から1時間ほど早くできないものか伺う。

〔答弁〕【教育長】幼稚園は、保育園と異なる学校教育法のもとで行われている教育の場である。その保育時間に合わせる送り迎えができる家庭の幼児を入園させる施設であると位置づけているため、その予定はない。

〔質問〕入園した当時から家庭事情が変わり、働きに出るようになった保護者を支援するため、朝の引き受け時間を早めることはできないものか伺う。

〔答弁〕【教育長】子どもが登園する様子を見て、子どもの1日の状態を判断して園の保育に入っている。そのため、登園の時間を区切っていることも、教育の一環として考えていた。〔質問〕お産や病気等の諸事情による長期欠席した場合、幼稚園の保育料を日割り計算などで支払うことはできないものか伺う。

なっている。そのため、日割り計算することは考えていない。ただし、例えばお産などで1カ月すべてを欠席する場合は、事前に休園届を提出し、承認された場合、保育料をその月に関して徴収しないこととしている。

市の幼稚園保育料は、民間と比較しても、非常に安い額となっているのでご理解いただきたい。

〔質問〕蔵王町幼稚園条例を見ると、延長保育を行っているが、この点について所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】蔵王町の状況は承知している。その状況は保育の領域だと考える。

幼稚園が園児を預かる意味は、「幼稚園教育」であると考えられる。幼稚園に入園する保護者の方々は、幼稚園の時間帯を理解して入園届を出しているもの

と考える。

雇用促進住宅について

佐藤 龍彦



市内で働く若者や子育て中の方から「生活が苦しい」「家賃が高く大変」との声が多く寄せられている。

〔質問〕子育て応援住宅として整備する東大畑地区の雇用促進住宅の取得はいつになるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕現在、所有者側から空室修繕の工事に着手し、平成28年2月末の完了で進めているとの連絡が入っている。

その修繕工事の完了後、市議会の議決を得て本契約し、引き渡しを受ける予定である。

〔質問〕取得後の家賃について伺う。  
〔答弁〕〔市長〕3階以上の部屋は、1・2階より家賃を低くすることも検討をしている。

◎寡婦(夫)控除の「みなし適用」について

夫や妻と死別や離婚した後、結婚せずに子どもを育てている場合に、所得税や住民税を軽減する寡婦(夫)控除という制度がある。

しかし、諸事情により結婚せずに子どもを育てているのに、婚姻歴のないひとり親家庭は、寡婦(夫)控除を受けられない状況にある。

その結果、収入や子ども年齢が同じであっても保育料などに違いが出ている。

〔質問〕婚姻歴のないひとり親家庭に対して寡婦(夫)控除を適用したとみなして、経済的負担を軽減する措置をとることはできないのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕実際の生活は、婚姻歴の有無に関わらず同じであり、サービス利用者負担額や給付額に格差が生

じることは時代にそぐわないと考えるが、国の法律に基づいて施行されているものもある。今後、寡婦(夫)控除のみなし適用については、対象となる事業を調査し検討していきたい。

◎有害鳥獣対策について

本市にも有害鳥獣対策が完成し、今後、施設が活用され、農業被害の軽減につながることを期待している。

しかし、平成27年度も特にイノシシによる被害が多く発生をしている。

〔質問〕鳥獣被害防止用の電気柵の補助率を引き上げることができないのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕被害地域の拡大に伴い、補助申請者が増加している。より多くの農家の方々にこの事業を活用していただくため、現行の上限額及び補助率で継続していきたい。



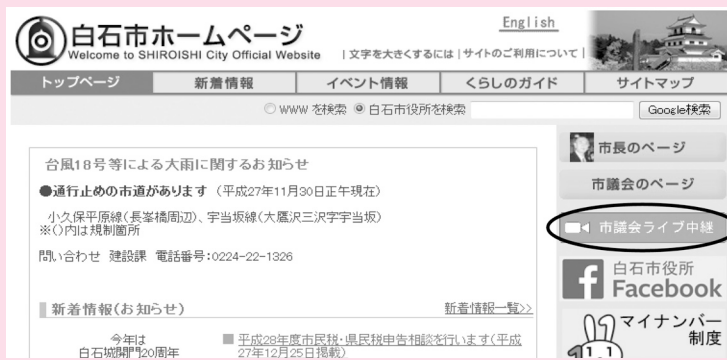
12月定例会を傍聴した大平小6年生

議会を傍聴してみませんか！

2月定例会は、平成28年2月16日(火)午前10:00開会予定です。

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行っています。議場で行われる本会議(議案審議・一般質問など)や予算審査をライブ中継や録画映像で視聴できます。



※録画映像は、生中継配信の日から30日間を経過すると自動で削除されます。

- 12月定例会の傍聴者数 34人
  - 12月定例会ライブ中継の合計視聴者数(累計) 406人
- 市のホームページの「市議会ライブ中継」をクリック

# 第2回市民と議会の意見交換会を開催します!

白石市議会では、市民の皆さまに開かれた議会を目指していくため、第2回目の意見交換会を下記の日程で開催します。

この意見交換会は、議員18名が6名ずつ3班に分かれて、市内の各地区公民館に出向いて行うもので、市民の皆さまに議会活動を広く知っていただくとともに、市政や議会活動に対する貴重なご意見やご提言をお聞かせいただくために開催するものです。

皆さまのご参加をお待ちしています。

**【開催日時】** 平成28年3月23日(水)～25日(金)  
午後7時～午後8時30分

※各会場での受付開始は、午後6時15分からです。  
※申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

- 【開催内容】**
- ①議会報告
    - ・平成28年度当初予算について
    - ・白石版『地方創生総合戦略』について
    - ・白石市小中学校の将来構想について
  - ②市民との意見交換

**【班編制と会場】**

	3月23日(水)	3月24日(木)	3月25日(金)
<b>1 班</b> 班 長 管野 恭子 (総務産建) 副班長 佐藤 龍彦 (厚生文教) 班 員 澁谷 政義 (総務産建) 班 員 平間 知一 (厚生文教) 班 員 大町 栄信 (厚生文教) 班 員 小川 正人 (総務産建)	斎川公民館  (講座室)	大平公民館  (集会室)	福岡公民館  (第1・2講座室)
<b>2 班</b> 班 長 山谷 清 (総務産建) 副班長 沼倉 啓介 (厚生文教) 班 員 伊藤 勝美 (厚生文教) 班 員 大野 栄光 (総務産建) 班 員 佐藤 聡一 (総務産建) 班 員 松野 久郎 (厚生文教)	白川公民館  (講座室)	深谷公民館  (講座室)	中央公民館  (第1・2講座室)
<b>3 班</b> 班 長 保科善一郎 (総務産建) 副班長 四竈 英夫 (総務産建) 班 員 佐久間儀郎 (厚生文教) 班 員 佐藤 秀行 (厚生文教) 班 員 山田 裕一 (厚生文教) 班 員 志村新一郎 (総務産建)	小原公民館  (講座室)	大鷹沢公民館  (集会室)	越河公民館  (講座室)

注：(総務産建)＝総務産業建設常任委員会、(厚生文教)＝厚生文教常任委員会

**議会広報委員会 委員**

委員 長	管野 恭子
副委員 長	佐藤 聡一
委員	佐藤 龍彦
委員	保科善一郎
委員	大町 栄信
委員	四竈 英夫
委員	佐藤 秀行
委員	山田 裕一
委員	松野 久郎

**編集後記**

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。この新しい年が皆様にとって幸多きものとなりますよう、心からお祈り申し上げます。

白石市議会基本条例の制定から1年が経過しました。本年3月には、昨年に引き続き「市民と議会の意見交換会」を実施いたします。市内9カ所で開催されますので、ぜひとも最寄りの会場へ足をお運びいただき、皆様のご意見を頂戴できればと存じます。

今後、私たち市議会は、議会改革への取り組みを進め、将来への希望が持てる良い変化を呼び起こす年となるよう、全力で取り組んでまいります。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

議会広報委員会  
副委員長 佐藤 聡一